



水戸南 Weekly Report Rotary Club of Mito-Minami

ロータリークラブ

週報

SERVE TO CHANGE LIVES

RIテーマ: 奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

地区スローガン: 地球の未来を想い、地域社会に貢献しましょう クラブ会長方針: ロータリーを楽しもう

Vol.49 No8(第2274) -1 2021年(令和3年)10月8日(金)

地域社会の経済発展・米山月間

2021年10月8日(金)

10月第2例会プログラム 新井和雄ガバナー公式訪問

1. 点鐘・開会
2. ロータリーソング〈奉仕の理想〉※ご静聴ください
3. ビジター紹介
4. ゲスト紹介
RI第2820地区ガバナー 新井和雄氏(下館RC)
第3分区ガバナー補佐 大木清実氏(水戸さくらRC)
5. ロータリーの時間「ガバナー公式訪問を迎えて」
篠原 勉会長
6. 会食
7. 会務報告(出席状況報告 ニコニコBOX
ロータリー財団 米山記念奨学 その他)
8. 幹事報告
9. 一記念講演ー
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために/
地球の未来を想い、地域社会に貢献しましょう」
RI第2820地区 新井和雄ガバナー
10. ロータリーソング
11. 点鐘・閉会

幹事報告

1 10月のロータリーレート

1ドル=112円

2 当クラブが2020-21年度ロータリー賞受賞しました。

また、第2820地区55クラブ100%受賞となりました。

3 本日のスケジュール

10:45~会長・会長エレクト・幹事との協議会
11:00~クラブ協議会
12:30~例会、会食、ガバナー記念講演
13:40~記念撮影
*懇親会はございません。

4 次回例会日程

日時: 10月15日(金) 12:30~
場所: 水戸プラザホテル
内容: 卓話「米山月間に因んで」
金原和美米山記念奨学委員長
米山奨学生 ゲン、ゴック アンさん

2021-22年度 第4回定例理事会 議事録

日時 2021年10月4日(月) 18:00~
場所 水戸プラザホテル 水戸市千波町2078-1
出席者 役員 篠原 勉 桑田信行 石川啓司
石井浩一 原口一吉 志村 保
理事 根本直哉 二川隆司 及川 譲
宇留野秀一 岡村太郎 谷島孝明
川崎英輝 人見光一

議事・決議事項

- ①10月プログラムについて (一部変更の上承認)
- ②ガバナー公式訪問について (一部変更の上承認)
・今回はコロナ感染防止の為、クラブ協議会、クラブ例会

と記念撮影とし、懇親会を開催しません。
③水戸プラザホテルへの支援について (承認)
④Zoom用Webカメラ、集音マイク一体型装置の導入について
(IT資料委員会の予算で購入する事で承認)
⑤次回理事会より開始時刻18時30分とする件について (承認)
⑥フィリピン向け中古消防車の現況進捗報告 (確認)

保留事項 特になし

次回定例理事会

1. 日時 2021年11月1日(月) 理事会 18:30~
2. 場所 水戸プラザホテル

国際ロータリー第2820地区 水戸南ロータリークラブ

■例会場 水戸プラザホテル TEL.029-305-8111

■事務所 常陽銀行本店 TEL.029-225-4820

■URL <http://www.mito-m-rc.com>

◆RI加盟承認 1973年(昭和48年)6月7日

◆チャーターナイト 1974年(昭和49年)2月10日

●会長 篠原 勉 会長エレクト 桑田 信行

●幹事 石井 浩一 副会長 石川 啓司

副幹事 及川 譲

クラブ会報委員会/委員長: 上野義哉 副委員長: 及川 譲 アドバイザー: 松本隆史 委員: 皆川雄作



9月第4例会 9月24日(金) オンライン例会

■ゲスト

第3分区ガバナー補佐 大木清実 氏 (水戸さくらRC)



当クラブが2020-21年度ロータリー賞受賞しました



「カバナー公式訪問に関する卓話」
大木清実第3分区ガバナー補佐



雑誌の時間 米川会員

出席報告

9月第4例会 (9月24日)
オンライン例会出席状況

会員数	出席数	欠席数	本日出席率
80名	25+(11)名	44名	52.17%

前週訂正出席率68.00%
()は、週報誌



9月第2例会 (9月10日(金)) 卓話 2-1

イニシエーションスピーチ

大森 愛会員

初めて例会に参加させていただいた時の素直な気持ちからお話しさせていただきます。私は間違えて来てしまった!! と。本来私はこのような場所に来られるような者ではないと、初めて会場に入った瞬間に思っていました。なぜそう思ったかと申しますと、ここにいらっしゃる方々が本当に人間的にも知識人としても、そして振る舞い等レベルの高い方々ばかりなので一瞬ひるんでしまったからです。でも私はこんな素晴らしい方々と出会えたのだから、もっともっと皆様とコミュニケーションを図って、多くの事を皆様から学んで成長していきたい! そう思っております。

私が幼少期の頃は、人見知り激しく、幼稚園の時の通知表のコメント欄に「次はお母さんの後ろに隠れずに、先生やお友達に挨拶ができるようになりましょうね。」と書かれていたようです。当時は恥ずかしくて、自らお友達や先生に声をかけられずにいました。このままではこれから先が大変と思った母が、キャンプや牧場体験など、子供たちだけのツアーに申し込んで、自立できるようにという想いで参加させていました。今はそんな母の愛を感じます。ただその当時は、夜が怖くて怖くて一人で泣きながら朝が来るのを、ただひたすら待っていた記憶があります。母は帰ってくる私を見るたびに、「なんかお姉ちゃんになったね。」と言っ

てくれていましたが、本当にその当時はもう行きたくないと思っていました。

そんな母の愛情のおかげで、今ではやったことのないことを年に1回は挑戦してみようと思って行動できるようになりました。人生で一番のエキサイティングな挑戦は、スカイダイビングでした。高度4,300メートルから、パラシュートを背負って飛ぶだけというとてもシンプルなものですが、今振り返ってみると、4,300メートルと考えるだけでゾッとします。一瞬の出来事でしたが、鳥になった感覚で空を飛びながら景色を味わえるのかなと思いましたが、パラシュートが開くまでは全くそのようなことを考える余裕もなく、ただひたすら無の境地でした。それも、そのはずです。なんと時速200キロでの出来事なのです。パラシュートが開き速度が落ち、ようやく景色を楽しむことができました。着地してからも、脚がプルプルしていました。飛ぶ瞬間の思い切りがかなりの緊張ですが、飛ぶまでの不安や恐怖もあっという間に消え去り別世界に行けるんだな、と身をもって経験することができました。

昨年は水戸駅から那珂湊まで20キロ程歩きました。今年はもう少し距離を伸ばして30キロほど歩いてみようかなと、考えています。かなり肉体的に疲れますが、途中でやってくる感情によりやめたい、帰りたいとネガティブになり、そこから自分の弱さと向き合える時間になるので結構、癖になります。学生時代は駅伝をやっていたりと、身体を動かすことから生きるヒントみたいなものを得てきている気がします。

私の仕事ですが、エステ業を営んでおります。好きな



9月第2例会（9月10日(金)）卓話 2-2



ことを仕事にして18年目になりました。シンプルに美容が好き、健康でいたい。そして、喜んでいただきたい。お悩みやキレイでありたい、健康でありたいと、その願いにお応えできるようになりたい。そんな想いからエステティシャンを始めました。

女性の縦社会の組織の中で12年、茨城、千葉、東京、神奈川地域をまわり、仲間と共に切磋琢磨しながら学ばせていただいたことも大変貴重な経験となりました。中でも、とにかく厳しく愛ある上司の言葉が印象深く、シングルマザーのわたしに「人生1つでもいいから継続して、それを子供に見せていきなさい」と言われ、どれだけ泣いても、辞めたいと言っても手を離さず育ててくれた上司の最後の言葉に「これからも、がんばりなさい。」初めてその上司に頑張れと言われ、頑張ってきて良かったなと、ずっと温かく見守ってくださったんだなと思い、また愛を感じたことを記憶しています。

会社組織でありました水戸のお店がクローズするタイミングと、自分が組織の中で守りに入る前に一步踏み出たく、上司が私を育ててくれたように想いを継承したく、女性も自立して活躍できる会社をと思い起業した次第であります。まだまだ不安定で小さな小さな会社ですが、お客様の喜んでいただける空間を守っていくことが、大切なスタッフを守ることでもあるなと日々奮闘中でございます。

最後になりましたが、水戸南ロータリークラブに入会を勧めてくださった方より、「生涯のお友達をつくるといいね。」とご紹介いただいたことがきっかけとなりました。このような歴史あるロータリークラブに私のような若輩者が入会していいのか、など入会させていただく

までも葛藤がございました。まずは、ご助言頂いたことを素直に受け止め行動してみよう。そして、この18年間、エステの仕事だけをただひたすら無我夢中で子育てをしながらやり続けてきました。息子も来年の大学進学に向けて、今必死に受験勉強をしております。毎日毎日机に何時間も向い、このコロナ禍で学校にも行けず、友人とも会えない環境の中で自分と戦っているのだと思います。苦しい辛い中でも、「将来があと数か月で決まるから大切な時期なんだ！」とわたしに言いましたが、実際は、自分に言い聞かせて自分を鼓舞しているのかと思いつつも、なんだか急にたくましいことを言うようになり、私も、自分の仕事だけではなく、視野を広げ社会に貢献できる豊かな心を養いながら、微力ながらもやってみよう！そのような気持ちに切り替わり、これも息子に背中を押された感じがして、一步踏み込んでみようという今日に至ります。

冒頭に申し上げましたが、今でも毎回とても緊張しておりますが、せっかくですので、学ばせていただく、若輩者ですがなにかお役になることをさせていただこうと決めて出席させていただいております。

例会では日々の活動報告などを聞き、皆様本当に素晴らしい活動をされているなと思い、今はこのような状況で活動にも制限が出ておりますが、思いやりの心と助け合いの心をもって活動に参加させていただきたく思います。

もとより経験の浅い駆け出し者でございますので、何かとお手数をおかけすると存じますが、皆様のご指導を仰いで、社会貢献のために精一杯努力してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



9月第3例会（9月17日(金)）卓話 2-1



イニシエーションスピーチ

小島瑞貴会員

早速ですが、私の生い立ちからお話したいと思います。

1980年生まれ、父の生家である東京都清瀬市にて誕生。父は会社員、母は専業主婦のもと育ちました。清瀬の実家は竹林やイチヨウの木で囲まれており、銀杏拾いやタケノコとりをしたり、お盆の時期には、提灯を持って近くのお墓まで、祖父母や親せきと細い路地を歩いた記憶がございます。恥ずかしがりやのおとなしい私でしたが、その頃の季節の心地よい風の感触や何かが始まる様なワクワクした気持ちは今でも良い思い出です。

そこから母の実家である、茨城県高萩市に移り住み、

大人になるまでのほとんどの年月を、こちらで過ごすこととなりました。高萩市は海と山に囲まれた和みの場所で、自然とともに、のびのびと暮らし育ちました。小学生のころはよく、父に、茨城弁のなまりを直されたりいたしました。フルーツの柿（カキ↑）・海鮮物の牡蠣（かき↓）、ホタテ（↓）からホタテ（→）。発音に自信がございませんので、今後、わたくしのなまりにお気づきになることがございましたら、ぜひ優しく、訂正をお願いいたします。

海辺近くの中学校に入り、現在も趣味である演劇と出会いました。もともと、本を読んだり、絵を書いたりすることなどが好きでした。沢山の芸術作品に触れ、思春期特有の豊かな感受性を実際に言葉や形で表し、あらゆる立場や思想から解釈を想像できる人になりなさいと、両親に教わってまいりました。演劇を通して、他



者の気持ちを想像し、全身で表現し発散できるのがとても楽しく、夢中になりました。

印象深い作品は、高萩市出身者で江戸時代中期の地理学者である、長久保赤水の演劇です。私の役は、赤水が幼少期のころに、亡くなってしまった病弱で優しいお母さまの役でして、舞台の上で、病に伏し、咳をしながら、赤水に優しい言葉をかけて亡くなってゆくという場面でした。まだ14歳の私には、病に伏せる母親の役は想像もつかず、とても難しかったです。ですが今思い出しますと、他にも、ゴミ箱がしゃべりだすようなお話や犬がしゃべるお話などもございましたので、演劇の世界は奥深いと思います。映画監督や演出家になりたい！など、大きな夢もございましたが、集団行動が苦手だった私も、特に変わらぬ学校生活を過ごし、やがて社会人となりました。

高校を卒業し、住み込みで美容師になることを目指し、修行の時期を過ごしました。労働時間は長く、寝る時間を削りながら練習し、仕事の合い間に学校に通わせていただきました。何千体ものウィッグを切り、持ち歩いていたので、近くを通りすぎる小学生には、生首を持っていると勘違いされて、睨まれたこともあります。

約10年以上かけ、やっと美容師になれたかな？と思えたころ、仕事が楽しいと思えなくなっておりました。実は向いていないのではないかと、自分はこの仕事を続けることに、意地になっているのではないかと考えるようになりました。そして、もっと、人を癒す丁寧な仕事がしたいと考え、エステとセラピストの世界へ飛び込みました。次は一人前になるまでに、長い年月を費やし、先輩とのコミュニケーションに頼りながらステップアップしてゆくのではなく、決められたカリキュラムに沿って、試験をクリアし、確実に段階を踏んでゆける場所で過ごそうと考え、業界の中で短期で最も厳しく教えてもらえる、学校を併設した大手の会社を選びました。

そこでは毎日のように試験がありましたので、勉強が追い付かず、電車の中や信号待ちでは、立ちながら教科書を読み、歩きながらイヤホンでも勉強いたしました。寮は一部屋に二段ベッドが、8台ぎっしりありまして、自分のスペースはベッドの場所だけでしたので、皆さんそこで、携帯のライトを照らし、耳栓で音をシャットダウンし、夜中はベランダに出るなどして、実技のフォームを身体で覚えるため、繰り返し練習しておりました。

神田の駅前のビルの寮でしたが、ちょうど隣りに消防署があり、早朝には朝礼があるのか、大きなサイレンと厳しそうな訓練の音が聞こえ、いつもその音に、自分も頑張ろうと励まされておりました。お風呂はシャワーのみで、一人10分ほど。職場がある神田や日本橋の街ゆく人は、皆ビジネススーツでキチンとされている中、私はよく、なんとも言えない抑制された気持ちで、

ジャージ姿のまま近くの高層ビルにある、銭湯などに行きました。そのビルの1階には、ご当地ショップがあり、茨城の納豆味のうまい棒を買ってみたり、近くのコンビニのナチュラルローソンが、おしゃれに見えて憧れておりました。

試験の時は、かつ丼と仲間からのメッセージ入りのキットカット（きつと勝つ）を食べるのが恒例行事でした。試験が受かるかどうかの不安と、チームの中で試験に受かれなかった仲間との悔しさで、よく号泣しておりましたが、その同僚達とは、今でも交流があり、皆さんそれぞれの土地で活躍されています。「あの時、あの場所で、共に声を掛け合いがんばれてよかったね。」と、思い出話に花を咲かせておられます。

技術者になるまでの経験で学んだことは、年齢が何歳であっても、新しいことを始めるのに遅い早いはないということと、ただ続けることだけに、執着しすぎず、達成するための期間や場所、ステップアップするカリキュラムの選択が大切だということです。新しい場所に、勇気を持って一歩踏み出せば、同じ目標を持った方がまた集まり、また成長できる、素晴らしい時間を、出会いの中で共有できました。

大好きな茨城にもどり、個人のおうちサロンを開きました。沢山のお客様たちに、毎日温かなお言葉をいただき、応援していただいたおかげで、またさらに新しい目標を見つけることができました。

それが、現在、水戸市見和町にあるトータルビューティーサロンです。

1つの場所で、髪の毛も切れて、カラーもできて、ネイルや、まつげケアや、フェイシャル、ボディケア、心とお身体の疲れを癒し、リフレッシュできるお手伝いができたら、幸せだと夢を持っておりました。お客様が笑顔になりお帰り頂けることが、1日の自分へのご褒美です。

サロンが出来上がるまで、沢山の方にお力添えをいただき、本当に感謝しております。そしてなにより、共に働くプロフェッショナルなスタッフの、素直でまっすぐな心、努力しつづける姿に、私もがんばらなくては！と毎日、反省し、励まされております。いつも、スタッフには伝えておりますが、成長と経験の過程で自身にコンプレックスを抱くのは、決してマイナスなことばかりではなく、他者の繊細な気持ちの揺れを察し、優しい気持ちで感謝することができる素敵な要素だと思っております。

もしも、自分の力ではどうすることもできないほどの、苦しいことが訪れても、その悲しさとともに、愛を忘れず、前を向いて生きて欲しいという希望でサロンを開きました。私も、今は亡き、尊敬する父を胸に、社会との関わりの中、希望を見つけ、歩んでまいりたいです。ロータリークラブの先輩方である皆様と出会い、これから、ロータリー精神の一員として共に活動して参りたいと思っております。